

流行っている店に人が集まるのはなぜ

一店に行列ができる様子をシミュレーションしてみよう

1 ねらい

モデル化とシミュレーションの考え方や方法について理解し、実際の問題解決に活用できるようにする。

2 内容及び教材

(1) 指導内容

情報 I コンピュータとプログラミング（モデル化、シミュレーション）

(2) 使用教材（配付資料等）

ア [ワークシート](#)

イ [行列シミュレーション](#)

3 指導の流れ

(1) 基本的な指導の流れ

時 限	学習内容・学習活動	指導上の留意点
1	<p>○関数とシミュレーションの説明</p> <ul style="list-style-type: none">・Excel の関数について説明を聞き、シミュレーションに利用されている関数について理解する。 <p>○シミュレーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none">・シミュレーション I の結果について気付いたことを授業プリントに記入する。・店内の混雑具合により入店確率に差が出るよう変更を加えた、シミュレーション II を実施する。その結果について気付いたことを授業プリントに記入する。・シミュレーション II に対して、開店前に 10 人の行列ができているように変更を加えた、シミュレーション III を実施し、その結果について気付	<ul style="list-style-type: none">・関数を説明しながら、モデル化とシミュレーションの仕組みについて説明する。・再計算（F 9）をして繰り返しシミュレーションを実行し、その結果の変化に注目するように指示する。

	<p>いたことを授業プリントに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 条件の違うシミュレーションの結果を比較して気付いた点を授業プリントに記入する。 <p>○まとめ 授業プリントを提出する。</p>	
--	---	--

4 評価の例

評価の例として、次のようなものが考えられる。

時 限	学習内容・学習活動	評価規準	評価方法・評価の観点
1	○シミュレーションの実施	シミュレーションを実施し、条件の違いで結果が変化することを理解している。	プリント [知識・技能]